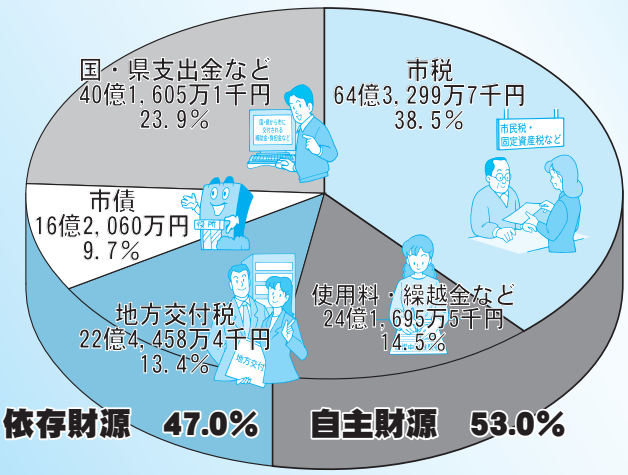
平成25年度決算

平成25年度の決算が9月定例市議会で認定されました。ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかをお知らせします。

一般会計決算

平成25年度一般会計決算額は、歳入が167億3,118万7千円、歳出が154億3,293万6千円で、単純な差引き(形式収支)は12億9,825万1千円となりました。このうち、消費税増税に伴い措置された臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金支給事業など、平成26年度に行う事業のための繰越金1億2,903万円を除いた決算剰余金(実質収支)は11億6,922万1千円の黒字となりました。

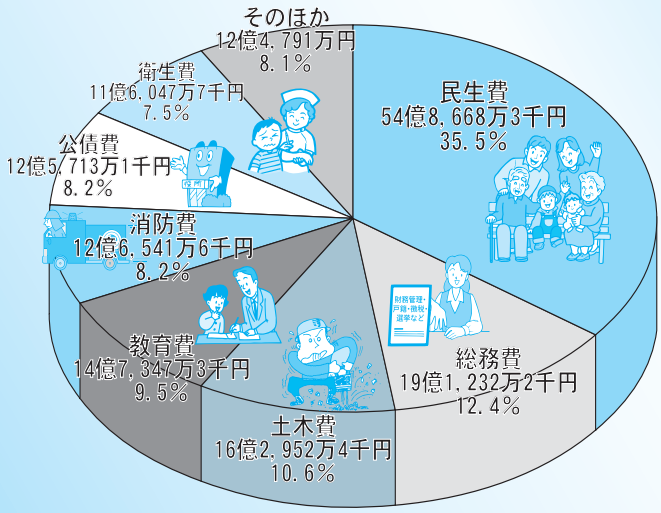
歳入(いただいたお金) 167億3,118万7千円



▼歳入は0・5%の減少

個人市民税の微増や市町村たばこ税の増加、生活保護費の増加に伴う国庫支出金(国からの補助金)の増加などはあったものの、法人市民税や、国から配分される地方交付税が大幅に減少したことなどにより、歳入全体では平成24年度より0・5%の減少となりました。

歳出(使ったお金) 154億3,293万6千円



▼歳出は1・3%の減少

生活保護費などは引き続き増加しているものの、平成24年度に実施した国の雇用創出対策に伴う事業の終了や、市債(長期借入金)の新規借入を引き続き抑制してきた成果として、償還(返済)額が減少したことなどにより、平成24年度より1・3%の減少となりました。

市民1人あたりは?

1人あたりの市税負担額は?
120,558円Ⓐ

Ⓐと Ⓑの差額168,665円は、国・県支出金、使用料、市債などで賄っています。

1人あたりに使ったお金は?
289,223円Ⓑ

たとえば、

民生費に	総務費に	土木費に
102,824円	35,838円	30,538円

(平成26年3月31日現在人口53,360人)

問合せ
一般・特別会計については
財政課
☎(43)1111 内線252
FAX(43)3783
水道事業会計については
水道管理課
☎(48)0050
FAX(48)0120

市税の状況

みなさんに納めていただいた市税（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税）が、歳入全体の38・5％と、最も大きな割合となっています。なかでも市民税は、市税の約半分を占める大切な財源となっています。

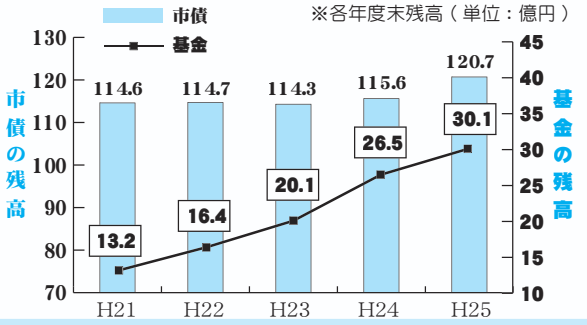
なお、都市計画税は市街化区域内の土地や家屋に課税しているもので、主に下水道整備事業に充てています。

市債と基金の状況

市では、次世代への負担の先送りとならないよう、市債（長期借入金）の新規借入を抑制しています。

また、今後予定している大規模事業（幸手駅周辺整備事業、圏央道関連事業、道路・橋・公園などの公共施設の老朽化対策など）に備え、基金（災害復旧や大規模事業などのための貯金）への積立てを積極的に行っています。

一般会計の市債と基金の推移



特別会計決算

特別会計名	歳　入	歳　出
国民健康保険	80億1,882万円	75億　374万7千円
後期高齢者医療	4億4,454万9千円	4億3,520万8千円
介護保険	29億　288万8千円	28億2,577万5千円
農業集落排水事業	3,139万4千円	2,923万6千円
公共下水道事業	10億1,687万7千円	9億6,098万7千円
水道事業	収　入	支　出
収益的収支	10億9,650万円	10億　130万4千円
資本的収支	1億1,520万2千円	4億2,490万5千円

※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金（内部留保資金）により補てんしました。

健全化判断比率をお知らせします

～比率はすべて基準を下回っています～

健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれ判断基準である早期健全化基準（［ ］内に表示）などが設けられています。早期健全化基準はいわゆる「イエローカード」で、これを上回ると早期健全化団体と位置付けられます。

実質赤字比率　－％［　１３．３６％］

一般会計の赤字が一般会計の収入に比べ、どの程度かを表すもの。赤字ではないため、該当なし「－」としています。

連結実質赤字比率　－％［　１８．３６％］

市のすべての会計を合算した場合の赤字の程度を表すもの。赤字ではないため、該当なし「－」としています。

実質公債費比率　５．８％［　２５．００％］

市債の返済額などの程度を表すもの。

将来負担比率　１０．７％［３５０．００％］

今後返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表すもの。

一般会計の主な事業と決算額

民生費（福祉に関する経費）

生活保護費の支給	11億8,371万円
障がい者への自立支援費の支給	6億6,319万円
子ども医療費の支給	1億3,924万円

総務費（市の内部管理などに関する経費）

土地開発公社所有地の購入	1億5,184万円
日本保健医療大学設立に係る補助	1億円
第5次総合振興計画後期基本計画の策定	681万円

土木費（道路や橋、公園などに関する経費）

公共下水道事業特別会計への繰出	4億8,875万円
圏央道関連事業（産業団地整備を含む）	3億6,059万円
幸手駅周辺整備事業	7,114万円
公園の維持管理	6,700万円

教育費（教育に関する経費）

小・中学校屋内運動場安全対策事業	1億4,687万円
私立幼稚園の保育料軽減に係る補助	8,399万円
就学の援助・特別支援教育就学の奨励	4,861万円
学校給食費に係る補助	2,029万円

消防費（消防、救急、防災・災害などに関する経費）

埼玉東部消防組合への負担金	8億　760万円
防災行政無線（固定系）更新事業	3億6,975万円

衛生費（保健やごみ処理に関する経費）

ごみ処理やリサイクルの推進	6億5,181万円
各種検診、予防接種の実施	1億3,470万円

そのほか（基金への積立金）

財政調整基金などへの積立	7億9,190万円

ここでは、平成25年度に実施した事業の一部を紹介しています。詳細については、「決算書」「主要施策成果表」をご覧ください。

市ホームページ（http://www.city.satte.lg.jp/）のほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館で公開しています。